

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【公開番号】特開2010-75651(P2010-75651A)

【公開日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2010-014

【出願番号】特願2008-274921(P2008-274921)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/08 (2006.01)

A 6 1 B 5/11 (2006.01)

A 6 1 D 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 1 0 2 C

A 6 1 B 5/00 1 0 1 R

A 6 1 B 5/08

A 6 1 B 5/10 3 1 0 A

A 6 1 D 1/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月13日(2011.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

振動センサが動物生体に直接又は物体を介在して間接的に接することで、前記動物生体の、心臓の拍動による振動、肺呼吸による振動及び身体の動きによる振動を検出し、振動性電気信号として出力する生体振動センサ手段と、

前記振動性電気信号から、心臓の拍動による心臓振動性電気信号及び肺呼吸による肺呼吸振動性電気信号を抽出する生体振動信号抽出フィルタ手段と、

前記心臓振動性電気信号及び前記肺呼吸振動性電気信号の何れか一つに該当する信号又は両方に該当する信号が消滅することを監視し通報信号を発する生体振動信号監視手段と、

前記通報信号をもとに音、光、文章表示の何れか一つ又は何れかの組み合わせで通報する通報手段とを有することを特徴とする動物生体振動監視通報装置。

【請求項2】

前記生体振動信号抽出フィルタ手段は、前記振動性電気信号から前記心臓振動性電気信号を抽出する心臓振動性電気信号抽出フィルタ部と、前記振動性電気信号から前記肺呼吸振動性電気信号を抽出する肺呼吸振動性電気信号抽出フィルタ部とを有することを特徴とする請求項1記載の動物生体振動監視通報装置。

【請求項3】

さらに前記振動性電気信号、前記心臓振動性電気信号、前記肺呼吸振動性電気信号の何れか一つの該当する信号又は、何れかの組み合わせの各々に該当する信号の情報を、経過時間順に保存する生体振動信号記憶装置手段を有することを特徴とする請求項1又は2記載の動物生体振動監視通報装置。

【請求項4】

前記生体振動センサ手段の前記振動センサは、多孔性ポリプロピレンエレクトレットフィルム、高分子圧電体であるポリフッ化ビニリデンフィルム、加速度センサ、加重センサの何れか一つであることを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項記載の動物生体振動監視通報装置。